



# 就寝時の生理的な顎運動と調和する咬合調整法

## 総義歯製作時の基準平面の考え方と

総義歯製作において基準平面の設定は、デジタル・アナログ両方の技工操作において欠かせない要素である。本実習会では、模型から基準平面を読み取る方法を提示し、その平面を基準とした人工歯排列および咬合調整法について解説する。近年ではインプラントを用いた固定性補綴装置の普及に伴い、咀嚼機能のみならず睡眠時にみられる生理的な顎運動との調和を考慮する必要性が指摘されている。本演題では、総義歯製作を通じて基準平面の新たな視点を示し、咀嚼・発音などの日常活動と睡眠時の顎運動の双方に調和する咬合理論を理解していただく機会としたい。

※実習中の撮影や録画は禁止とさせていただきます。  
※実習室は飲食禁止の為、昼食は学校外でお召し上がりください。

### 持参品

1. 咬合器（上顎マウント用の平面台があるもの）
  2. 排列に使用するインスツルメント
  3. パラフィンワックスとワックスポッド
  4. カーバイドバー  
(基礎床や人工歯基底面の調整用と咬合調整用のもの)
  5. 基礎床とロウ提（セミナーまでに咬合器に模型を付着して製作してご持参ください）
- \* 講習会では排列から開始いたします。  
\* 人工歯は当日配布いたします。  
\* 事前にお申し込みいただいた方には模型を送付いたしますので、準備の上ご持参ください。

### ■講師略歴

## 佐野 和也

[さの かずや]



### 略歴

- 株式会社サヤカデンタル事業部 取締役技術部長
- 埼玉県歯科技工士会所属
- 有床義歯学会指導技工士
- 白水貿易デンチャーインストラクター
- 埼玉歯科技工士専門学校非常勤講師

MEMO